仕様書番号: FKSO-212A

仕 様 書

御中

_品 名: テープスロット型難燃光ファイバエコケーブル EM-FT4SZ-G50-□□-WB-MTE-FR

> 富士電線株式会社 光ケーブル・加工品部

<u> — ТОКҮО FUJI —</u>

テープスロット型難燃光ファイバエコケーブル 型名: EM-FT4SZ-G50-□□-WB-MTE-FR (□□: 光ファイバ心数を示す。)

1. 適用範囲

本仕様書は、テープスロット型難燃光ファイバエコケーブルについて規定する。

1-1 型名表示例



1-2 関連規格

- ① J I S C 6820 「光ファイバ通則」
- ②JIS C 6822 「光ファイバ構造パラメータ試験方法-寸法特性」
- ③ JIS C 6823 「光ファイバ損失試験方法」
- ④ J I S C 6824 「マルチモード光ファイバ帯域試験方法」
- ⑤ J I S C 6825 「光ファイバ構造パラメータ試験方法-光学的特性」
- ⑥JIS C 6832 「石英系マルチモード光ファイバ素線」
- ⑦JIS C 6838 「テープ形光ファイバ心線」
- ⑧ J I S C 3005 「ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法」

2. 構造

2-1 光ファイバ心線

表1 4心テープ形光ファイバ心線の構造

X = 10 / ///// / 1 0/// / 10///				
項	目	仕		
材質(ファイバ種別)		石英ガラス(G I)		
コア径		5 0 ± 3 μm		
クラ	ッド径	$1~2~5~\pm~2~\mu\mathrm{m}$		
開口数	欠 (N. A.)	0.20 ± 0.015		
コア/クラッド偏心量		3 μ m 以下		
コア非円率		6%以下		
クラッド非円率		2% 以下		
スクリーニングレベル		1.0%以上		
1 次 被 覆		UV硬化樹脂(外径:250±15μm)		
	材 質	UV硬化樹脂		
	構造	光ファイバ素線を4本平行に並べ、一括被覆を施す。		
2次被覆	夏 押 垣	(構造図参照)		
	寸 法	テープ幅:1.10±0.12mm		
		テープ厚さ:0. 30 ^{+0.08} -0.065mm		

2-2 光ファイバケーブル

表2 光ファイバケーブルの構造

項	目	仕 様		
ファイバ心線数		4~24心 28~60心		
テンションメンハ゛	種別	防錆処理鋼線		
/	サイズ	$1.4\mathrm{mm}$	1.6 mm	
集合		S Z スペーサ溝内に 4 心テープ心線を収納する。 (構造図参照)		
押え巻		吸水テープで押え巻きする。		
引 裂 紐		プラスチック紐を縦添えする。		
外被		標準厚2.0mmの黒色難燃PEシース		
仕上外径		約10.0mm	約11.5mm	
概算質量		95 k g / k m	120kg/km	

3. 特性

表 3 光学的特性

公 2016314区						
46	種別	伝送損失	伝送帯域	波 長		
	(里 が)	d B/k m以下	MHz・km以上	n m		
G 5 0		3. 0 (*1)	500 (*3)	8 5 0		
		1. 0 (*2)	500 (*3)	1 3 0 0		

(*1) ケーブル長(: Lkm) より、以下の式を適合する。

 $1 \leq L$ $: 3.0 \times L$ (d B以下)

 $0.2 \le L < 1$

 $: 2.875 \times L + 0.125$

(d B以下)

L < 0.2

: 0.7

(d B以下)

(*2) ケーブル長 (: Lkm) より、以下の式を適合する。

 $1 \leq L$

 $: 1.0 \times L$

(d B以下)

 $0.2 \le L < 1$

: $0.875 \times L + 0.125$

(d B以下)

L < 0.2

: 0.3

(dB以下)

(*3) ケーブル長 (: Lkm) より、以下の式を適合する。

 $1 \leq L$

:表3の値/L

(MHz以上)

 $0.4 \le L < 1$

:表3の値/L^{0.5}

(MHz以上)

L < 0.4

:表3の値/0.4 0.5

(MHz以上)

注)但し、測定値の限界は1GHzとする。

項 目 仕 様 900N 以下 (4~24心) 許容張力 1180N以下(28~60心) 延線時 ケーブル外径の20倍以上 許容曲げ半径 固定時 ケーブル外径の10倍以上 下図に示す試験方法により試験した時、周囲の温度が常 温、初期水頭長1mで、試験開始後24時間経過しても、 ケーブル端面露出部から水の流出が認められないこと。 ケーブル端面 シース・押え巻 露出部 防水特性 100cm はぎとり部・ 2.5cm 4000cm

表 4 機械特性

4. 難燃特性

表 5 難燃特性

21 - /\m/\\\\ 4 \max				
項目	仕 様			
難燃特性	JIS C 3521「通信ケーブル用難燃シース燃焼性試験方			
,,	法」により、上端まで燃焼しないこと。			
 発煙濃度(* 4)	JIS C 60695-6-31により試験したとき、平均			
光柱版及(*4)	150以下とする。			
燃焼時発生ガス	JIS C 3666-2の8. 2項により試験したとき、pH			
の酸性度(*4)	4. 3以上とする。			

^(*4)外被材のみとする。

5. 標 識

ケーブル外被上に製造社名略号、ファイバ種別、1 m毎のレングスマーク等を連続表示する。

6. 端末処理

光ファイバケーブルの両端は湿気の浸入を防ぐため、適当なキャップを用いて密閉する。

7. 荷造り、表示

ケーブルは、一条ごとに東取り又はドラムに巻き、運搬、保管に耐える様に適当な 荷造りをする。

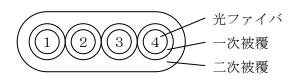
梱包には、適当な場所に次の事項を表示する。

- (1) 品名又は略記号
- (2) 条長
- (3) 製造社名又はその略記号
- (4) 製造年月
- (5) その他必要事項

8. 注意事項

本製品を常時水に浸る場所及び直埋布設すると性能が劣化するおそれがありますので避けて下さい。

9. 構造図



テープ	心線番号			
番号	1	2	3	4
1	青			
2	黄	茶	灰	桃
3	緑			

図中の数字は心線番号を示す。

図1. 4心テープ心線構造図

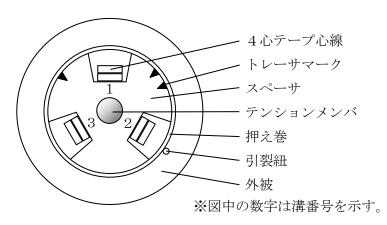


図2. ケーブル構造図 (4~24心)

光ファイバ心線の配列及び識別

光ファイバ	溝 番 号			
心数	1	2	3	
4 心	1	_		
8心	1, 2	_		
1 2 心	1, 2	1	1	
16心	1, 2	1, 2		
20心	1, 2	1, 2	1	
24心	1, 2	1, 2	1, 2	

- 1) (一) は空溝を示す。
- 2) 必要に応じて溝内に介在を挿入する。

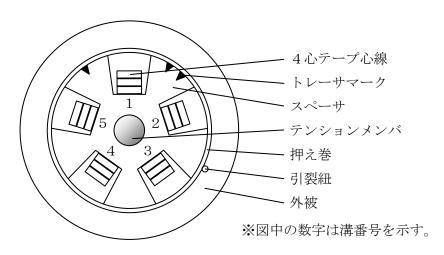


図3. ケーブル構造図(28~60心)

光ファイバ心線の配列及び識別

光ファイバ	溝 番 号				
心数	1	2	3	4	5
28心	1, 2, 3	1, 2, 3	1		_
3 2 心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2		_
36心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3		_
40心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1	_
44心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2	_
48心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	_
5 2 心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1
56心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2
60心	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3

- 3) (一) は空溝を示す。
- 4) 必要に応じて溝内に介在を挿入する。